

ふくしまの焼きもの 1

会期：2020年11月14日(土)～2021年1月11日(月・祝)

会場：福島県立博物館 部門展示室「歴史・美術」

開館時間：9:30～17:00（最終入館は16:30）

観覧料：常設展料金でご覧いただけます

* 大人・大学生280円（20名以上の団体は220円）

高校生・小中学生無料

福島の陶磁器を紹介するテーマ展「ふくしまの焼きもの」。第1回となる今回は、大堀相馬焼（おおぼりそうまやき）がテーマです。

浪江町大堀地区を中心に300年以上にわたり途絶えることなく作り続けられてきた大堀相馬焼。2011年の東日本大震災および福島第一原子力発電所事故を受け全生産者が避難した後も、県内外の移転先で窯の火は受け継がれています。大堀相馬焼の特徴として、馬の絵や青ひび釉、二重焼が有名ですが、その他にも様々な種類の釉薬や技法が用いられ、人々の生活に寄り添った多様な器が作られてきました。本展では、江戸時代末～明治時代を中心とする大堀相馬焼の優品を展示するとともに、震災直後の様子やその後の再興など大堀相馬焼の「いま」をご紹介します。



青土瓶
(南相馬市博物館蔵)



金彩駒絵御神酒徳利
(南相馬市博物館蔵)



柿釉黒流掛油壺
(南相馬市博物館蔵)

〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25

Tel:0242-28-6000

mail:general-museum@fcs.ed.jp

URL:https://general-museum.fcs.ed.jp/



福島県立博物館

Fukushima Museum